

5バリュースセット代表の齊藤です。いつもありがとうございます。
今月から毎月ニュースレターを配信していきます。

私はこの会社を2021年に始めましたが、大きな目的は2つあります。



5バリュースセット株式会社
代表取締役 齊藤彰一

ウェルスマネジメントの理想を日本に

1つ目は「理想のウェルスマネジメントの会社を日本で作りたい」というものです。
私は基本的には日本のことが大好きな人間ですが、ウェルスマネジメントビジネスにおいては米国が理想であると思っています。米国ではファイナンシャル・アドバイザーというのは、お客様からも社会からも本当の意味で頼りにされていて、医者や弁護士同様に社会的地位も高く尊敬されています。反面、日本のウェルスマネジメントというのは昔から進歩がなく一向に改善されていません。

当社の社員の大半は世界最大の証券会社であったメリルリンチという米国企業で働いていたのですが、私はメリルリンチのような会社を、この日本で作ってみたいと思っています。ちなみに会社名の「5バリュー」というのはメリルリンチの5つの企業理念を基にしています。



資産運用の基本となる「債券運用」の拡大を目指す

2つ目は「債券運用を広めたい」というものです。
債券運用というのは、資産運用の基本中の基本であって、株式等の他の資産クラスと比較すると堅実、着実だと考えています。

私は20年以上、債券を中心に運用提案を行ってきていますが、ほぼすべてのお客様にご満足いただいています。ファンドなどで資産運用を行って失敗された方は多いと思いますが、銘柄選択と分散投資を心がけている限り、米ドル債での運用で失敗された方というのはほとんど聞いたことがありません。

万人に紹介できて、資産の隅々まで運用していい、というのが債券だと思っています。しかし日本ではほとんどのお客様は債券を紹介される機会がなく、また年々、債券ビジネスは縮んできています。債券トレーダー、クレジットアナリスト、債券に詳しいアドバイザーなどが年々減っています。

証券業界では、一部の業者がラップ投信をはじめとして、ファンドビジネスばかりを伸ばそうとしているのが私は残念でなりません。

私は、できるだけ多くの方に債券運用の有益さを知っていただき、日本での債券ビジネスを盛り上げたいと思っています。

このような会社でございますが、これからもよろしく願いいたします。